

平成30年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会

次 第

日時：平成30年7月10日（火）13：00～

場所：アクア・ベール 2階 高砂の間

1 開 会

2 新委員紹介

3 ご講演「地域公共交通の活性化及び再生に向けた施策と課題」

（国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課長 金子 正志 様）

4 議 事

（1）平成29年度事業報告及び決算、監査報告について

資料1－1～1－3

（2）地域公共交通再編実施計画策定業務について

資料2－1・2－2

（3）地域公共交通網形成計画に位置付けた取組みについて

資料3

5 その他

6 閉 会

釧路市地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

【平成30年7月10日現在 構成員名簿】

新委員

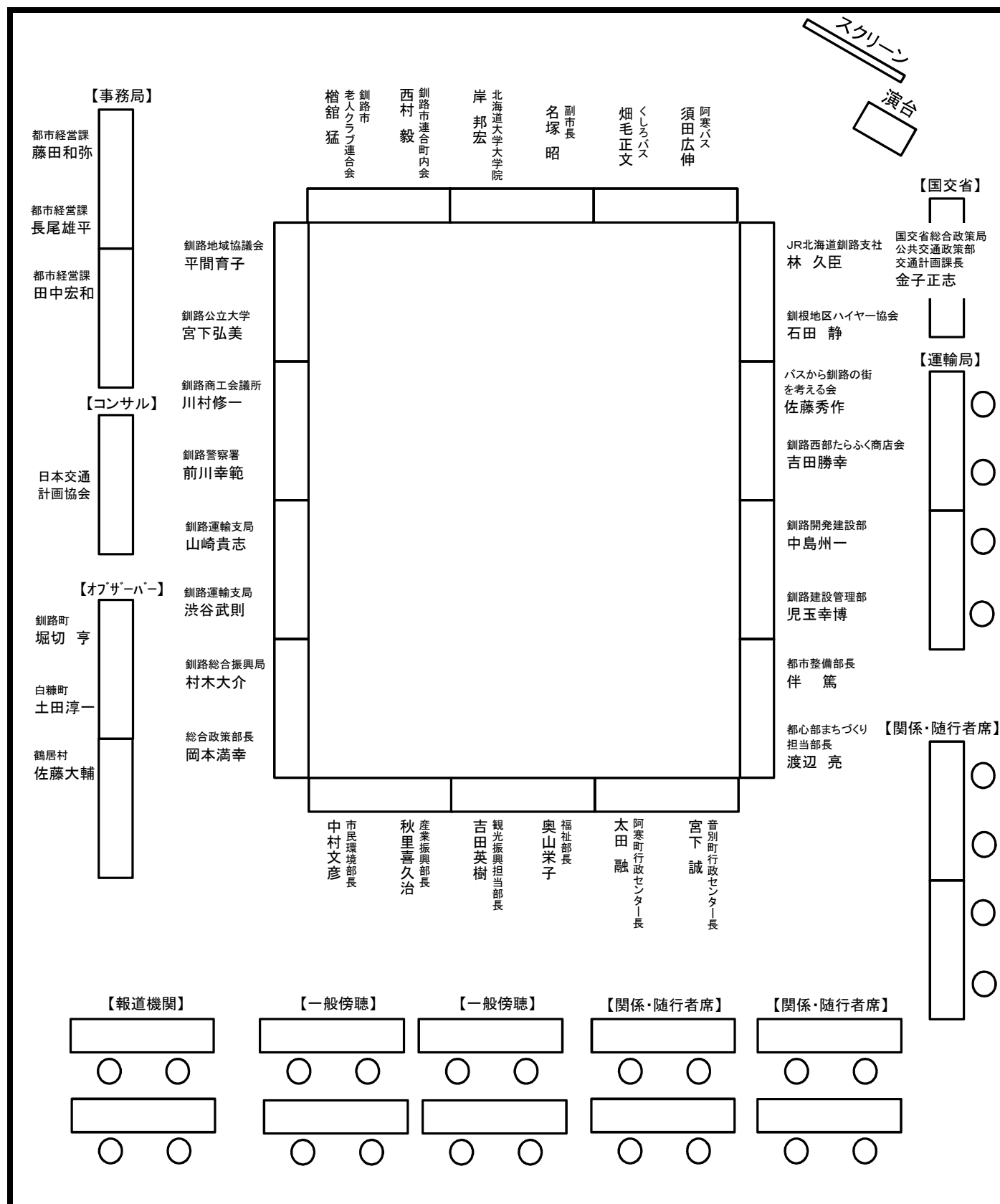
区 分	所 属	職 名	氏 名	協議会役職	出 欠
釧路市	釧路市	副市長	名塚 昭	会 長	
	釧路市総合政策部	部長	岡本 満幸	委 員	
	釧路市総合政策部	都心部まちづくり担当部長	渡辺 亮	委 員	
	釧路市市民環境部	部長	中村 文彦	委 員	
	釧路市産業振興部	部長	秋里 喜久治	委 員	
	釧路市産業振興部	観光振興担当部長	吉田 英樹	委 員	
	釧路市福祉部	部長	奥山 栄子	委 員	
	釧路市阿寒町行政センター	センター長	太田 融	委 員	
	釧路市音別町行政センター	センター長	宮下 誠	委 員	
公共交通事業者	くしろバス（株）	企画総括	畑毛 正文	委 員	
	阿寒バス（株）	営業本部次長	須田 広伸	委 員	
	北海道旅客鉄道（株）釧路支社	次長（企画）	林 久臣	委 員	
	釧根地区ハイヤー協会	事務局長	石田 静	委 員	
	（有）阿寒観光ハイヤー	取締役	松岡 篤寛	委 員	欠席
道路管理者	釧路開発建設部	次長（河川道路担当）	中島 州一	委 員	代理出席 釧路道路事務所長 武藤秀樹
	釧路建設管理部	事業室長	児玉 幸博	委 員	
	釧路市都市整備部	部長	伴 篤	委 員	
公安委員会	釧路警察署	交通官	前川 幸範	委 員	
地域公共交通の利用者	釧路市連合町内会	会長	西村 毅	委 員	
	釧路市老人クラブ連合会	会長	檜舘 猛	委 員	
	釧路地域協議会	副会長	平間 育子	委 員	
	阿寒地域協議会	会長	曾我部 元親	委 員	欠席
	音別振興協会	会長	荻原 秀一	委 員	欠席
	釧路西部たらふく商店会	事務局長	吉田 勝幸	委 員	
	バスから釧路の街を考える会	事務局長	佐藤 秀作	委 員	
学識経験者	北海道大学大学院	准教授	岸 邦宏	副会長	
	滋賀県立大学		平岡 俊一	委 員	欠席 ※専門部会等に向け調整中
	釧路公立大学	教授	宮下 弘美	委 員	
その他市長が必要と認める者	北海道運輸局釧路運輸支局	主席運輸企画専門官 （総務企画担当）	山崎 貴志	委 員	
	北海道運輸局釧路運輸支局	主席運輸企画専門官 （輸送・監査担当）	渋谷 武則	委 員	代理出席 運輸企画専門官 西村穂法
	釧路総合振興局	地域政策課長	村木 大介	委 員	
	釧路商工会議所	専務理事	川村 修一	委 員	
事務局	釧路市総合政策部都市経営課	政策推進主幹	藤田 和弥		
	釧路市総合政策部都市経営課企画担当	専門員	長尾 雄平		
	釧路市総合政策部都市経営課企画担当	主査	田中 宏和		

・オブザーバー

	所 属	職 名	氏 名
釧路町	企画財政部まちづくり推進課	課長	堀切 亨
白糠町	保健福祉部町民サービス課	課長	土田 淳一
鶴居村	住民生活課	課長	佐藤 大輔

平成30年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会

日時:平成30年7月10日 13:00
場所:アクア・ベール 2階 高砂の間



1 協議会開催状況【協議会3回、専門部会3回】

開催日	協議会	主な協議内容
H29. 6. 7	第1回 釧路市地域公共交通活性化協議会	・釧路市地域公共交通網形成計画の策定について ・平成28年度事業報告及び決算、監査報告について 資料1 ・釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に向けて ・釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査業務について ・釧路市地域公共交通活性化協議会事務局規程の改正について ・再編実施計画の策定に向けた想定スケジュール(案)について
H29. 10. 2	第1回 釧路市地域公共交通活性化協議会 専門部会	・釧路市地域公共交通再編に係る基礎調査について
H29.11.10	第2回 釧路市地域公共交通活性化協議会	・地域公共交通再編に関する基礎調査について ・高齢者向けに求められる公共交通の調査について(主催:北海道運輸局、連携:協議会) ・公共交通の利用促進の取組みについて ・地域公共交通網形成計画に位置付けた取組内容の進捗状況について
H29.12.26	第2回 釧路市地域公共交通活性化協議会 専門部会	・地域公共交通再編実施計画の策定に係る基礎調査について ・高齢者向けに求められる公共交通の調査(老人クラブグループミーティング)の実施報告(北海道運輸局)
H30.2.16	第3回 釧路市地域公共交通活性化協議会 専門部会	・地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査業務報告書について ・高齢者向けに求められる公共交通の調査について(北海道運輸局)
H30.2.27	第3回 釧路市地域公共交通活性化協議会	・地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査報告書について ・平成30年度事業計画(案)について ・平成30年度収支予算(案)について ・高齢者向けに求められる公共交通の調査について(主催:北海道運輸局)

2 事業内容

○ 釧路市地域公共交通再編実施計画の作成に向けた調査事業の実施

・本協議会において、地域公共交通再編実施計画の作成に関する各種調査、必要な協議を行った。

○ 高齢者の公共交通への利用促進転換事業に係る調査の協力実施

・高齢者の運転免許返納に関する意識向上と公共交通の利用促進に向けた調査、動機付けのため、主催者である北海道運輸局と連携、協力を行った。

平成29年度 釧路市地域公共交通活性化協議会収支決算報告

【収入の部】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	増減額	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,482,000	3,482,000	0	・釧路市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	494,961	494,961	0	・前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	39	7,109	7,070	・預金利息、委員報酬源泉所得税一時預かり金
合 計			3,977,000	3,984,070	7,070	

【支出の部】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	増減額	説明
1 運営費	1 運営費	1 運営費	482,000	467,454	△ 14,546	・委員報酬、旅費、会場使用料、事務用消耗品等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,495,000	3,240,756	△ 254,244	・地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査業務委託料、振込手数料
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合 計			3,977,000	3,708,210	△ 268,790	

【収入の部】

【支出の部】

【次年度繰越金】

3,984,070円 — 3,708,210円 = 275,860円

平成 2 9 年度 会計監査報告

釧路市地域公共交通活性化協議会規約第 5 条第 3 項の規定により、平成 2 9 年度釧路市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算に関する関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 3 0 年 7 月 1 0 日

釧路市地域公共交通活性化協議会

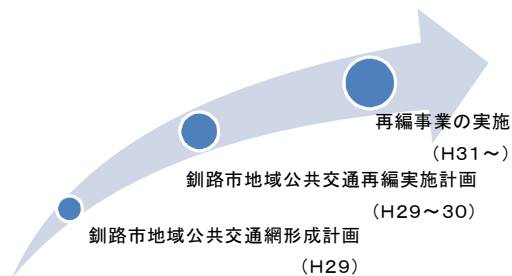
監 事 西 村 毅



釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に向けて

1 釧路市地域公共交通再編実施計画の策定趣旨

平成29年6月、釧路市の公共交通のマスタープランである「釧路市地域公共交通網形成計画」を策定
「釧路市地域公共交通再編実施計画とは、このマスタープランを実施するため具体的な内容を定める計画



2 釧路市地域公共交通再編実施計画に係る基本的な事項

1 策定根拠

（地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第27条の2第1項 抜粋）

地域公共交通網形成計画を作成した地方公共団体は、当該計画に即して地域公共交通再編事業を実施するための計画を策定し、これに基づき、当該地域公共交通再編事業を実施し、又はその実施を促進するものとする

2 記載事項

- ①実施区域 ②事業の内容・実施主体 ③地方公共団体による支援の内容 ④実施予定期間
- ⑤事業実施に必要な資金の額・調達方法 ⑥事業の効果
- ⑦地域公共交通網形成計画に地域公共交通再編事業に関連して実施する事業が定められている場合には当該事業に関する事項
- ⑧地域公共交通網形成計画に都市機能の増進に必要な施策の立地の適正化に関する施策その他関係する施策との連携に関する事項が定められている場合には、当該連携に関する事項
- ⑨その他必要事項

3 策定主体など

- ①策定主体 釧路市 ②協議機関 釧路市地域公共交通活性化協議会
- ③策定期間 平成30年度（予定）
- ④計画期間 平成31年度から平成38年度（釧路市地域公共交通網形成計画の終期に合わせる）

4 事業費

平成29年度 釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査業務委託（324万円）

平成30年度 釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に関する業務委託（918万円）

5 計画を策定するメリット

地域公共交通再編実施計画に基づいて国土交通大臣の認定を受けることにより、同計画に位置付けられて

いる事業に対し、下記の支援を受けることができる

- ・ゾーンバス化した路線に対する要件緩和
- ・フィーダー系統上限額の増額
- ・デマンド運行に用いる小型車両・予約システム導入支援
- ・計画に記載した利用促進への支援など

3 釧路市地域公共交通再編実施計画策定基礎調査業務（平成29年度）

・委託事業者	公益社団法人日本交通計画協会		
・契約締結日	平成29年6月2日	・契約金額	3,240,000円（消費税等含む）

- 基本再編案の検討
- 再編対象路線の利用実態とニーズ及び再編後の需要予測
- 再編事業に係る費用対効果の検討
- 再編事業実施プランの検討
- 釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査報告書の取りまとめ

4 釧路市地域公共交通再編実施計画策定業務（平成30年度）

・委託事業者	公益社団法人日本交通計画協会		
・契約締結日	平成30年6月1日	・契約金額	9,180,000円（消費税等含む）

1.バス路線網の再編案の運行計画の検討

①バス路線の幹線と支線の分割によるゾーンバス化及び既存路線の最適な運行計画

便数、ダイヤ、運賃等の運行計画案を検討する。また阿寒、音別地域等の交通不便地域における生活交通の運行形態、便数、ダイヤ、運賃等の運行計画を検討する。またゾーンバス化に伴う乗継運賃を検討する。

②乗換拠点の整備計画

乗換拠点の動線計画、500分の1程度の縮尺による乗場配置計画、導入路の交差点等改良を検討する。

2.再編計画案の需要予測

①利用意向アンケート調査

上記再編案に対する既存のバス利用者及び市民に対するアンケート調査を実施し、再編案の利用意向を把握する。

②需要予測

上記結果にバス停留域人口等を加味しバス停間の需要予測を行う。

3.事業収支の予測

再編案の運行計画に掛かる費用と需要予測を基に運賃収入を算定し、事業収支を予測する。また、バス事業者への補助については、再編実施計画が認定された場合も想定しつつ、補助額の算定を行う。

4.待合環境の事業計画の検討

乗換拠点以外の一般バス停について、待合環境に優れたバス停の事例等を収集しつつ、最適な整備方針の検討を行う。あわせて整備の優先順位、整備主体、管理主体などの検討を行う。

5.地域公共交通再編実施計画案のとりまとめ

上記検討結果を踏まえ、関係事業者、団体、住民等との調整、協議を重ねつつ、1.事業区域、2.事業内容・実施主体、3.行政による支援、4.実施期間、5.事業実施予算、6.事業の効果等の実施計画案をとりまとめる。

6.協議会開催・専門部会開催

地域公共交通再編実施計画案のとりまとめのため、各段階において協議会を年4回程度開催するとともに、協議会の下部組織である専門部会も同じく年4回程度開催する。

5 地域公共交通確保維持改善事業費字補助金（平成30年度）

補助金

上記、釧路市地域公共交通再編実施計画策定業務について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金の交付申請を平成30年4月27日に国土交通大臣へ申請し、平成30年5月18日付け、下記のとおり交付決定通知がありましたのでご報告いたします。

- ・補助事業名： 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通再編推進事業（再編計画策定事業））
- ・補助対象経費： 9,244,800円
- ・補助申請額： 4,622,000円（補助対象経費の1/2）
- ・補助決定額： 4,622,000円

1.バス路線網再編に向けた方向性

地域公共交通網形成計画（平成29年6月）

人口減少や少子高齢化が急速に進むなか、安心できる健康で快適な生活環境の実現に向け、徒歩と公共交通で移動しやすいまちづくりの再編に取り組む「鉦路市立地適正化計画」を平成29年3月に策定



まちづくりの再編を支える地域公共交通ネットワークの形成に向け、平成28年3月に鉦路市地域公共交通活性化協議会を設置、平成29年6月に「鉦路市地域公共交通網形成計画」を策定

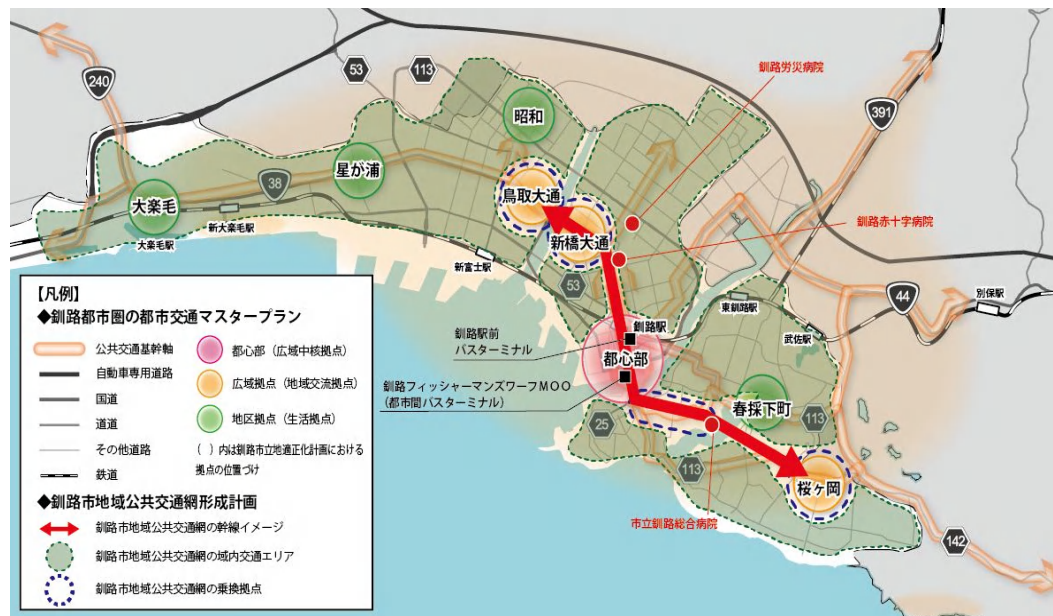
計画の対象期間

平成29年度～平成38年度（10年間）

主な取組み（再編事業）

- ・ わかりやすく、効率よく拠点間を連絡するバス路線網への再編
- ・ 乗換拠点の機能充実
- ・ 市内拠点等を結ぶ地域や利用者ニーズに応じた効果的なバス運行の実施
- ・ 使いやすくわかりやすい運賃体系の構築
- ・ 円滑な運賃支払い方法の推進
- ・ 生活交通の導入検討
- ・ スクールバス、患者輸送バス等の活用検討

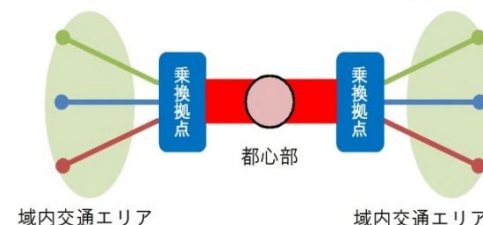
地域公共交通網形成計画における幹線イメージ



▼幹線を軸としたバス路線網のイメージ

乗換拠点を中心に住宅街等の域内交通エリアを補完するバス路線を設定

幹線の明確化及び、幹線を軸としたバス路線網を再編



1.バス路線網再編に向けた方向性

P 2

地域公共交通再編基礎調査報告書（平成30年3月）

「釧路市地域公共交通網形成計画」に位置付けた施策の実現化を図るため、バス網の再編計画や利用促進策のアクションプランとなる「釧路市地域公共交通再編実施計画」の策定に向けた基礎検討を実施

「釧路市のバス路線網の主な問題点」

- ✓ 市内を運行するバス路線の多くは釧路駅前が起終点であることから釧路駅前周辺でバス路線が重複
- ✓ バス路線の長大化に伴う運行時間の不正確さ
- ✓ 1年間で1.28億円の運行補助

「再編計画案検討の視点」

- ①上位関連計画との整合
- ②市民ニーズやまちづくりの進捗に合わせた幹線軸の整備・育成
- ③既存ストックの活用や開発計画に合わせた乗換拠点の確保
- ④利用者ニーズや事業の継続性を踏まえたバス路線網再編対象路線の設定
- ⑤域内交通の運行サービスの充実
- ⑥将来に渡って持続可能な地域公共交通を支える行政負担の抑制

「再編案の枠組み」

現行の運行（ルート）を継続する路線

- ①現行のルートを継続
 - ・スクール線
 - ・観光要素強い
 - ・幹線系と重複しない
 - ・事業採算性が高い
 - ・乗換えが複数発生 等

幹線系路線

- ②幹線系路線を代替（補完）する路線

③新規路線

乗換拠点

④支線系路線

乗換運行により運行距離を短縮→増便等のサービス向上

1.バス路線網再編に向けた方向性

P 3

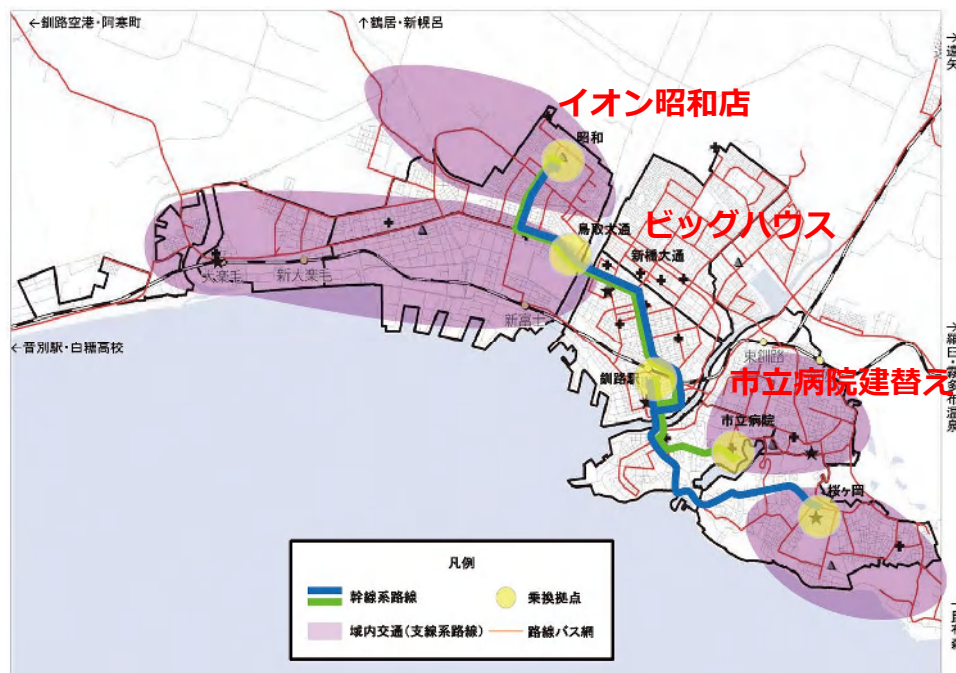
「幹線系路線と乗換拠点の再編基本パターン」

- ✓ 乗換拠点間『昭和～市立病院』及び、立地適正化計画の進捗に応じて『昭和～桜ヶ岡』を連絡する新規の幹線系2路線の新設を目指す
- ✓ 支線系路線は乗換拠点までの運行とすることで、現況に比べ路線延長が短縮

「乗換拠点候補地の選定」

- 立地適正化計画の拠点
都心部（広域中核拠点）、広域拠点（地域交流拠点）、地区拠点（生活拠点）
- 利用ニーズが高く高規格な運行により需要の掘り起こしが期待できる既存の都市拠点
買い物及び通院目的において市民ニーズが高い場所、在来バス路線の利用が多い施設周辺
- 乗換機能に必要な機能と施設が確保できる場所

幹線系路線と乗換拠点の再編基本パターン（立地適正化計画を踏まえた最終目標）



計画条件の変更（乗換拠点）

- ・ 市立病院建替えの延期（平成38年度までの着工予定）
- ・ 鳥取大通の進捗状況（平成32年度～）

実施方針

できるところから順次運行を実施し、その結果を踏まえ、バス路線網再編計画を段階的に実施

2. 釧路市地域公共交通再編実施計画の方向性

P 4

【バス路線網再編（ゾーンバス化）の段階的实施】

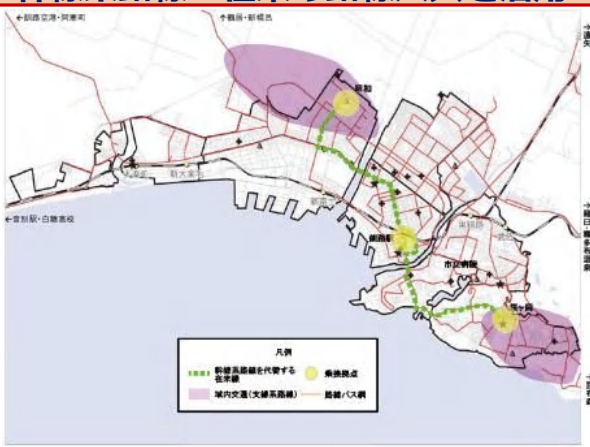
再編実施計画期間内

STEP1

乗換拠点：イオン昭和店、
桜ヶ岡通

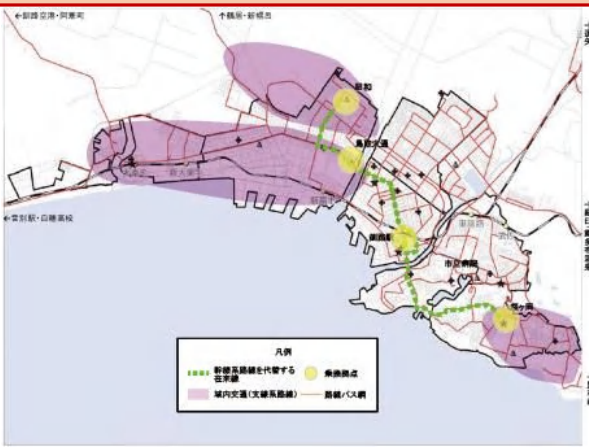
※支線数も限られており、
合理的な場所を検討中

幹線系路線：在来の路線バスを活用



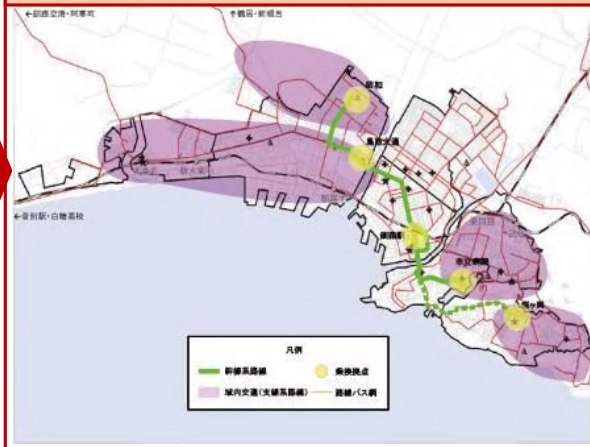
STEP2

乗換拠点：STEP1に加えビッグハウ
ス釧路店の方向性に合わせ実施
幹線系路線：在来の路線バスを活用



STEP3

乗換拠点：STEP2に加え
市立病院の建替えに合わせ実施
幹線系路線：新規路線を導入



再編実施計画の立案方針

計画条件が見通せるH32までの計画と、
計画条件の変化も想定される市立病院の
計画は、各々熟度に応じた計画を作成

釧路町、鶴居村と接続
する対象路線は、双方
協議の上、適宜実施

・新規幹線ダイヤ
・市立病院（東部）を拠点としたゾーンバス運行計画
⇒実態に見合った再検討

再編
実施計画

昭和
イオン昭和店
＜西部＞

桜ヶ岡
桜ヶ岡通等
＜東部＞

鳥取大通
ビッグハウス釧路店
＜西部＞

状況に応じて
変更
の可能性

市立病院
（建替）
＜東部＞

H29

H30

H31

H32

H38

釧路市地域公共交通網形成計画～再編実施計画期間

3.平成30年度の進め方

P 5

交通事業者、商業施設等
関係機関と個別の調整・
協議

1. バス路線網再編案の運行計画の検討

現時点の
予定範囲

STEP1

①昭和（イオン昭和店）、桜ヶ岡
を乗換拠点とした路線図

②幹線系を代替する在来線、
支線系路線の運行計画・交番表

③乗換拠点の整備計画

STEP2

①鳥取大通（ビッグハウス釧路店）
を乗換拠点とした路線図

②幹線系を代替する在来線、
支線系路線の運行計画・交番表

③乗換拠点の整備計画

STEP3

①市立病院を乗換拠点
とした路線図

②新規幹線系、
支線系路線の運行計画・交番表

③乗換拠点の整備計画

2. 再編計画案の需要予測と事業収支の予測

○バス利用者アンケート調査

○沿道市民アンケート

再編運行計画を示し乗換えの影響（利用減）と利用
促進策（利用増）に対する利用意向を把握

アンケート結果を基礎データとした需要予測
と現行の料金表に基づく運賃収入

○運行距離、便数の変化に応じた運行経費

○交番数、車両数等の運行資源

3. 待合環境の事業計画の検討

4. 再編実施計画案の取りまとめ

4.利用意向アンケート調査

P 6

※アンケート調査の詳細は、今後、専門部会で意見交換を行っていただく予定

- 利用者アンケートは、再編対象路線の利用者を中心に、バスの利用実態や再編計画案で想定される乗換え運行による影響や利用促進の取り組みへの利用意向を把握
- 沿道市民アンケートは、再編対象路線沿線のバスを利用できる環境にある市民を中心に、利用促進の取り組みへの利用意向を把握した上で、バスを乗換えるとした場合の利用意向の変化を把握

《利用促進の取り組みの効果》

- ①増便
- ②バス待ち環境の向上
- ③バス停でバスが何分後に到着するかの情報提供
- ④買物系電子マネーによる運賃決済
- ⑤買物バス券
- ⑥バスマップ
- ⑦高齢者のバス利用にかかる支援 等

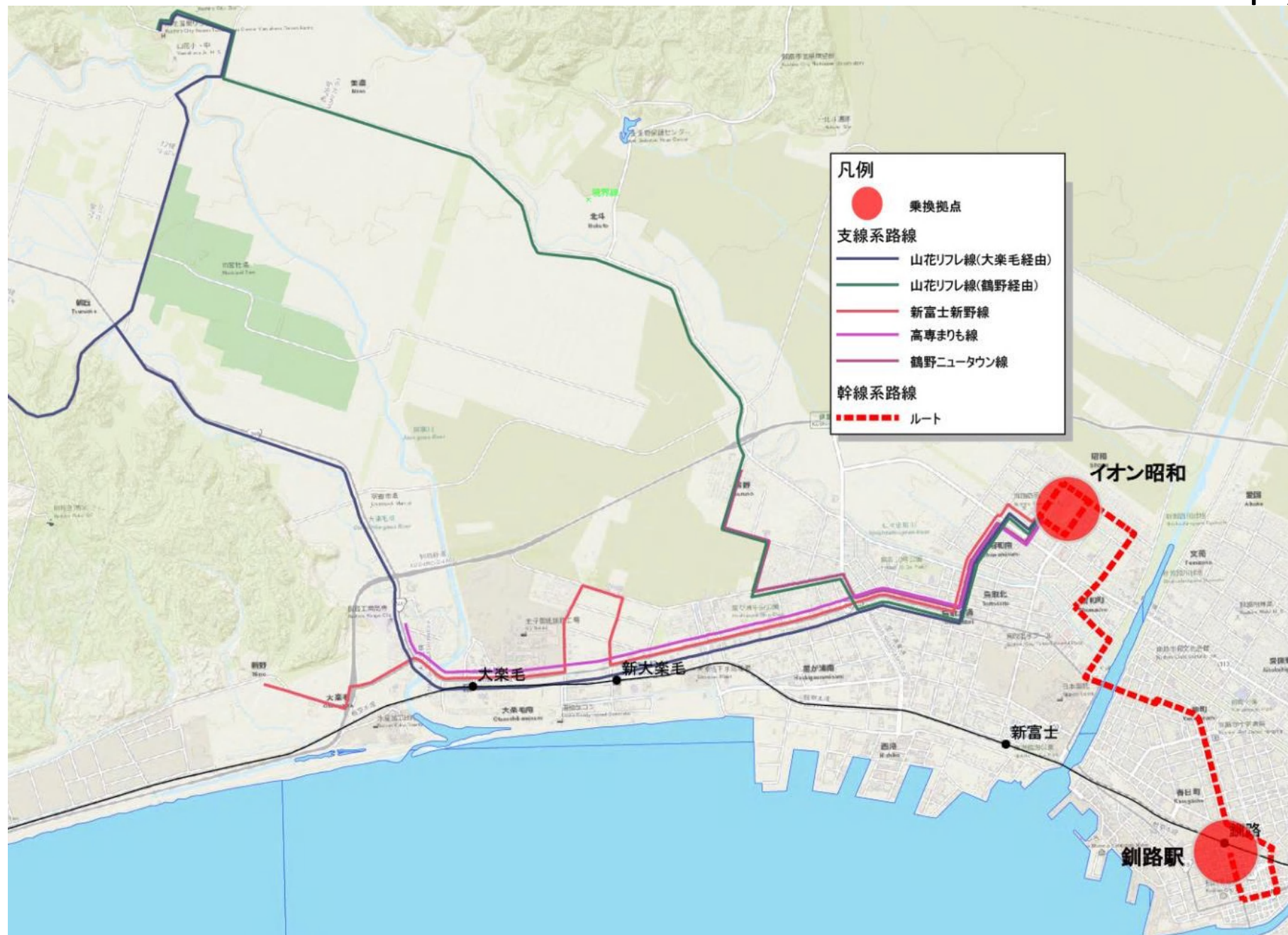
《乗換え運行への影響》

- ①バス乗場への移動
- ②乗換え待ち時間
- ③乗換え運賃

	利用者アンケート	沿道市民アンケート
調査対象	中心となるのは、再編対象となる支線系路線の利用者 18系統以上	中心となるのは、再編対象となる支線系路線沿道の概ね徒歩圏内に居住する15歳以上の市民（調査対象地域内の市民を無作為抽出） 約3,000票
調査方法	・ 調査員がアンケート用紙を配布 ・ アンケート用紙を車内に設置しドライバーにアナウンスしてもらい配布 ・ 回収は郵送等	市が抽出した住所に郵送配布、郵送回収

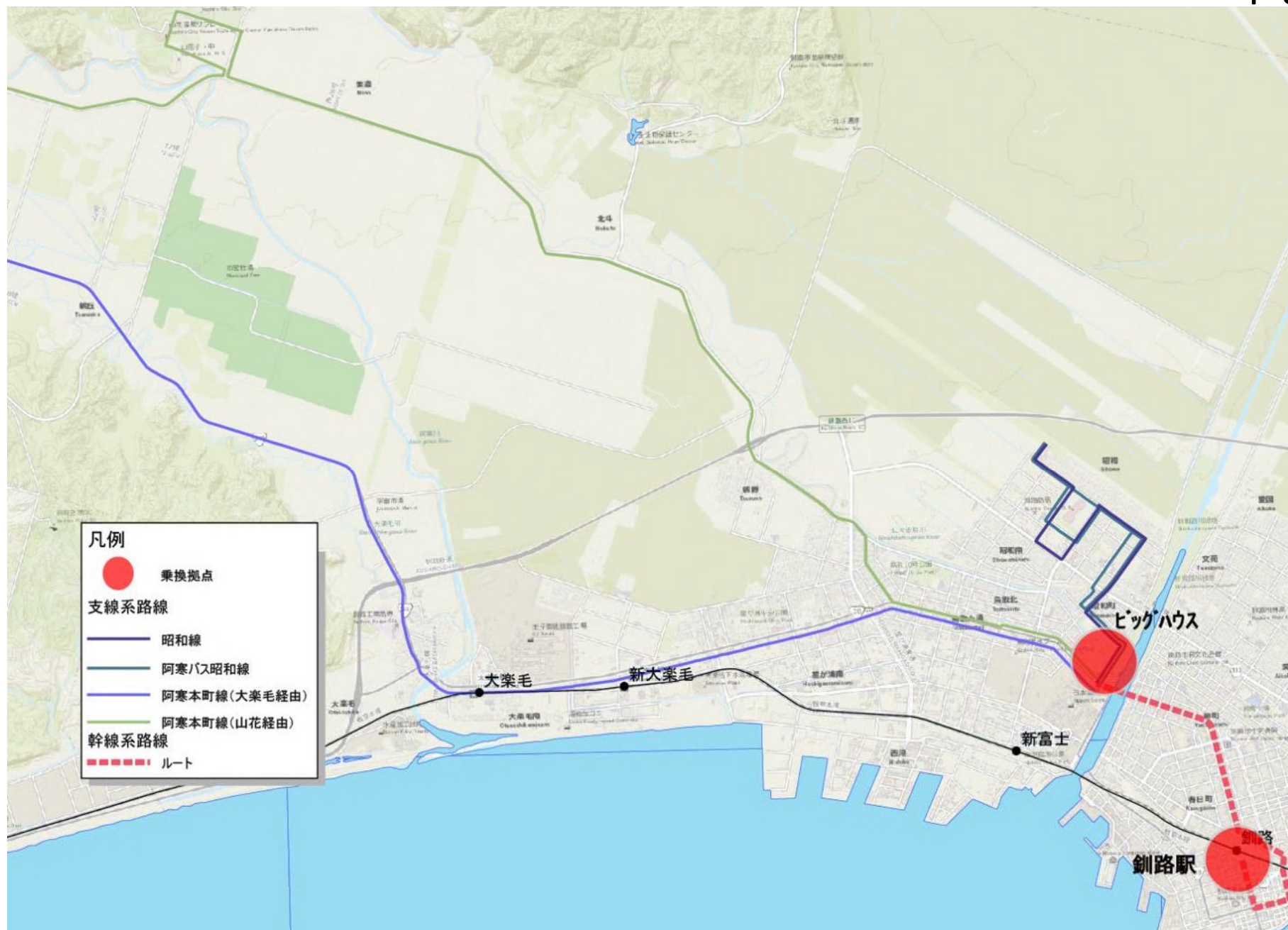
再編対象路線（調査対象路線）乗換拠点「昭和」

P 7



再編対象路線（調査対象路線）乗換拠点「鳥取大通」

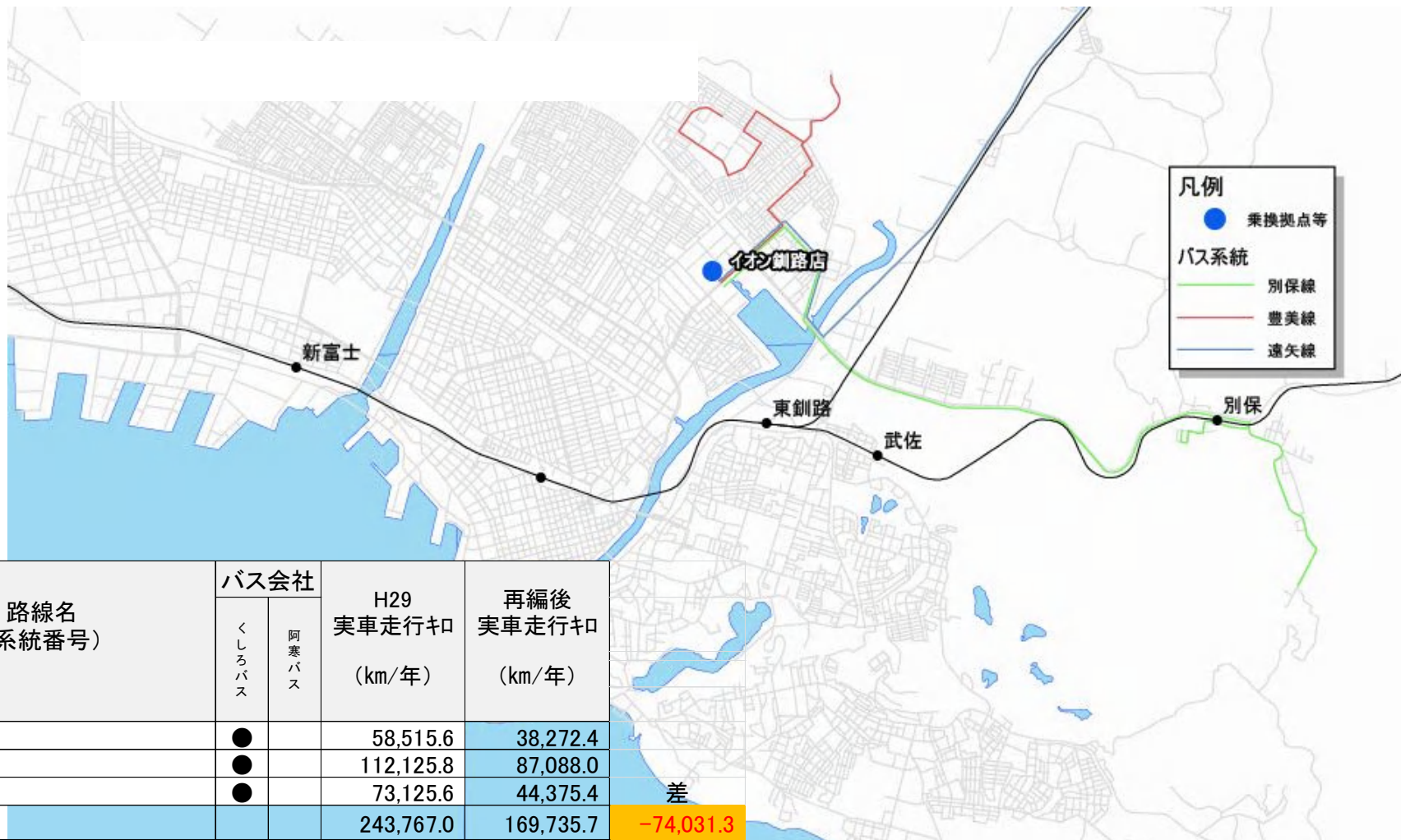
P 8







ケース1,2,3【釧路町の1箇所に集約】 （イオン釧路店を想定）	系統数	3 路線	1年間の 総短縮延長※	7.4万km
-------------------------------------	-----	---------	----------------	--------



再編対象路線（調査対象路線）乗換「鶴居村下幌呂」

P 12

ケース1,2,3【鶴居線に集約】 （下幌呂を想定）	系統数	1 路線	1年間の 総短縮延長※	2.0万km
------------------------------	-----	---------	----------------	--------



《算定方針》（STEP1～3の市内路線バス全体）

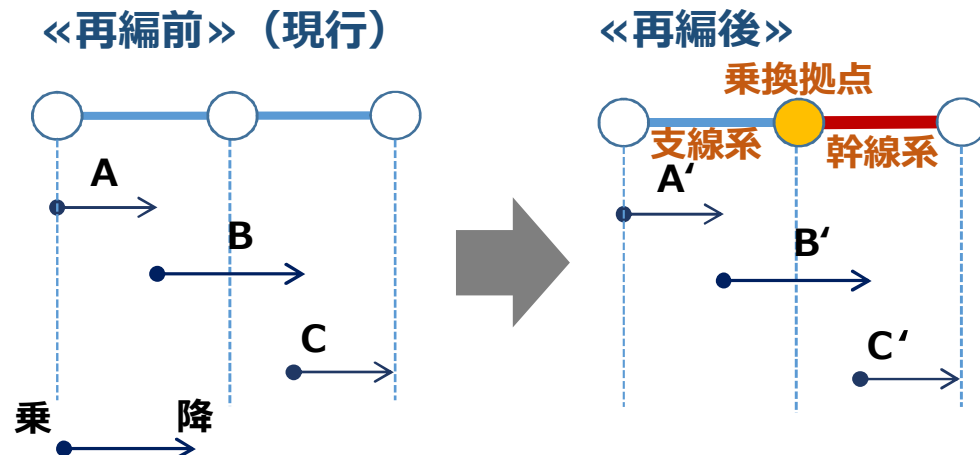
●現在バスを利用している人

路線別		運賃収入	現況からの変化	運行経費	現況からの変化
再編対象路線	①支線系路線	乗換運行に伴う減少		運行距離の短縮による経費の削減	
		利用促進の取組みによる増加		増便による経費の増加	
再編対象外の路線	②幹線系路線を代替する路線	支線系路線からの乗換利用による増加		現状	
		利用促進の取組みによる増加			
	③上記以外	利用促進の取組みによる増加		現状	

* 運賃収入は、上記以外に利用促進の取組みによる、現在バスを利用していない新規バス利用を見込む

再編後の運賃収入の考え方

- A'：乗車と降車とも支線系路線区間
 $A \times \text{利用促進の増加率} \rightarrow \text{支線系の収入}$
- B'：支線系から幹線系に乗換える
 $B \times \text{乗換運行に伴う減少} \times \text{利用促進の増加率} \rightarrow \text{支線系と幹線系の収入}$
 幹線系は現行運賃並みの割引を適用
- C'：乗車と降車とも幹線系路線区間
 $C \times \text{利用促進の増加率} \rightarrow \text{幹線系の収入}$



《運賃収入》

利用意向アンケート調査

バス利用者の再編後の利用＝

過年度実施したOD調査の利用者数
×利用促進の取組みによる増加率
×（乗換え運行の影響による減少率）※1
＋（支線系路線からの乗換利用）※2

新規バス利用者＝

路線バスの沿線人口×
利用促進の取組みによる増加率×
乗換え運行の影響による減少率

※1) 支線系路線のみ

※2) 幹線系路線を代替する路線のみ

路線再編後のバス停間利用者数（OD）

現況の料金表に基づく 運賃※

※) 再編前の直通運賃と同額以下
の運賃（乗換割引適用）

平成29年度運賃収入実績

路線再編後の運賃収入

《運行経費》

運行距離※1＝

再編後の運行距離×便数×
実車走行距離比※2

※1)再編対象外の路線は現行

※2) 便数は平日を想定しているが、
実際は休日や季節によって一部異
なることから実績値より設定した
補正値を乗じる

運行距離 単価※

※) 平成29
年度実績

交番数、 車両数等 の運行資 源の算出

路線再編後の運行経費

路線再編後の事業収支の検証

交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保【阿寒・音別地域】 P 15

【阿寒地域】

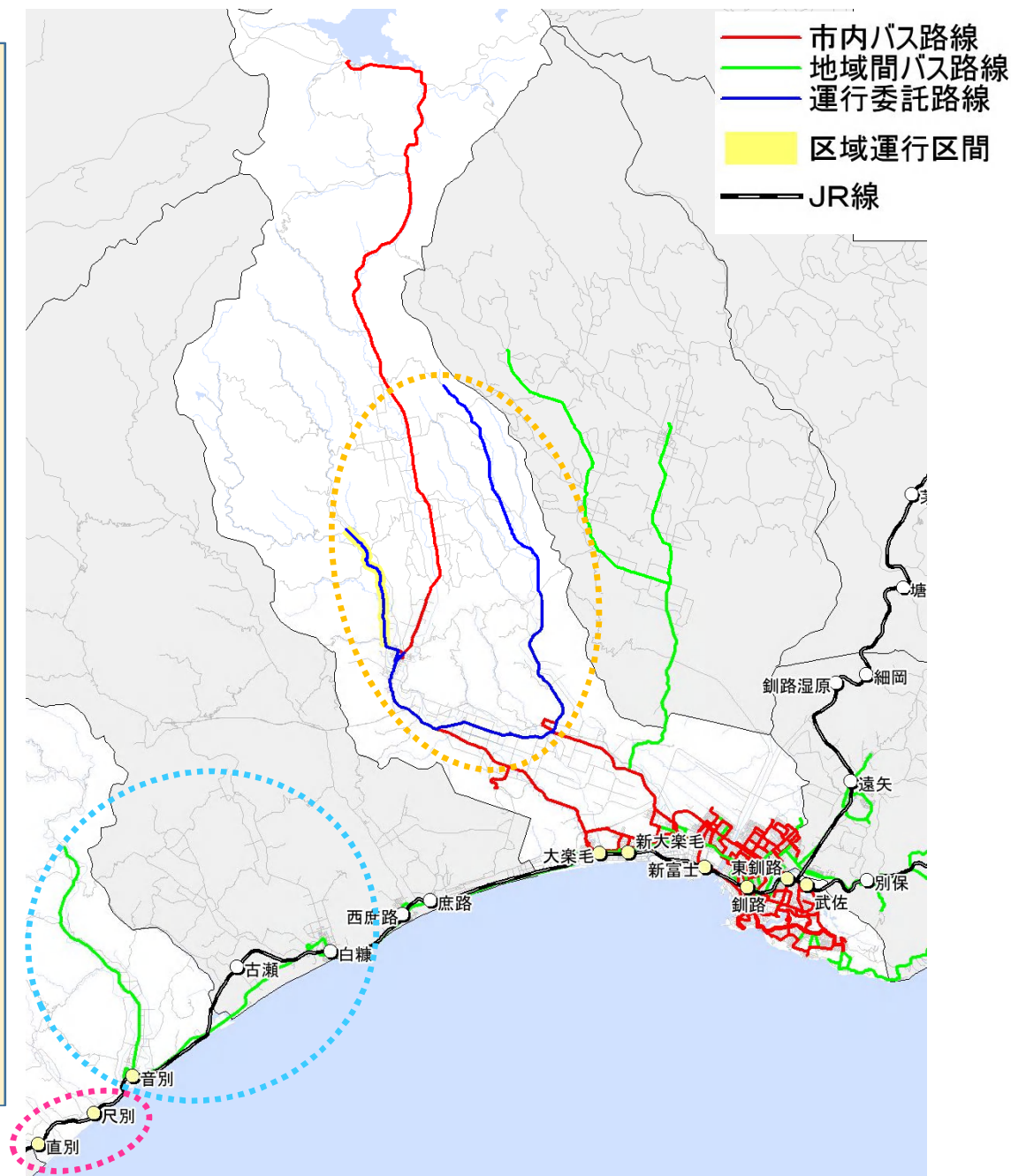
・「仁々志別線」の利用者が近年大幅に減少していることから、利便性が高く効率的である、様々な手法による生活交通を検討

※アンケート調査等予定

【音別地域】

・ＪＲ根室本線の「尺別駅」・「直別駅」の廃止を検討する旨、ＪＲ北海道より通知があったこと、H30.3月に廃止されたくしろバス「音別線」の代替としてH30.4月よりスクールバスでの混乗利用が試行されていることと合わせて、音別地域全体の生活交通を検討

※アンケート調査等予定



6.再編実施計画案の取りまとめ

P 16

※) 上記したバス路線再編計画、阿寒・音別地域の交通不便地域の対応等の計画のほか、乗換拠点以外のバス待合環境のあり方等を加え、以下の規定項目で再編実施計画案を取りまとめる

計画として取りまとめる主な項目	主な取りまとめの内容
①実施区域	釧路市
②事業内容・実施主体	- 幹線を軸としたバス路線網への再編 *「バス路線網再編案の運行計画の検討」結果を整理し記載 - 乗換拠点のバス待合環境整備、施設を利用した乗換え（待合）環境整備 - 市民の主要な目的地へのバス路線の配置を行うとともに、住宅街と乗換拠点をつなぐバス路線の配置 - 複数路線を前提とした運賃体系や運行ダイヤの導入 - 市内バス交通の積極的な利用を促す運賃支払い方法の推進 - 交通拠点等におけるわかりやすい乗場案内等の情報提供・誘導の実施 - 公共交通不便地域におけるデマンド型交通やコミュニティバス等の新たな公共交通の導入 - スクールバスや患者輸送バス等の空き時間・空席等を有効活用した地域における生活交通の支援を実施
③地方公共団体による支援の内容	運行補助等
④実施予定期間	平成31年度～平成38年度
⑤事業実施に必要な資金の額・調達方法	〇〇円（要内訳） *「再編計画案の需要予測と事業収支の予測」結果を整理し記載
⑥事業の効果	●バス交通の利便性向上、事業収支改善～持続可能な公共交通網の構築 - 市民1人当たりのバス利用割合の向上 - バス停の環境に対する満足度の向上 - 現状のバスに対する総合的な満足度の向上 - バスの運行経路や行き先に対する満足度の向上

6.スケジュール

P 17

H30.6. 1~H31.3.30

項 目		平成30年						平成31年		
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1.バス路線網再編案の運行計画の検討	(1) 幹線の運行計画	素案の検討			下記検討を反映					
	(2) 支線の運行計画	素案の検討			下記検討を反映					
	(3) 乗換拠点の整備計画	必要台数、動線検討			民間事業者との調整協議					
2.再編計画案の需要予測	(1) 利用意向アンケート調査	設計・準備			実施・集計解析					
	(2) 需要予測									
3.事業収支の予測										
4.待合環境の事業計画の検討						事例収集等				
5.地域公共交通再編実施計画案の取りまとめ										
6.地域公共交通活性化協議会・専門部会		● ● 平成30年度の実施方針				● ● ・調査結果の概要 ・再編実施計画（素案）		● 再編実施計画（案）		
7.交通事業者（くしろバス、阿寒バス等）		再編計画案の合意形成に向け定期的に調整・協議を実施								
8.乗換拠点の事業者（必要に応じ道路交通管理者）		イオン昭和店、ビックハウス釧路店等を主体に調整・協議を実施								

※赤字：地域公共交通再編事業

地域公共交通網形成計画に位置付けた取組内容	前期 (H29～33 年度)					後期 (H34～H38 年度)				
	29・30 年度		31	32	33	34	35	36	37	38
基本方針 1 市内拠点を中心とした公共交通軸の活性化と乗換拠点の機能強化による持続可能な公共交通網の形成										
施策 目指すべき都市構造から適切とされる乗換拠点の機能を強化し、拠点間の連携促進及び運行の効率化を図る										
①わかりやすく、効率よく拠点間を連絡するバス路線網への再編	・再編策定業務 ・検討		再編事業実施							
②乗換拠点の機能充実										
③市内拠点等を結ぶ地域や利用者ニーズに応じた効果的なバス運行の実施										
④鉄道との接続を考慮したバス運行の充実										
基本方針 2 迷わず乗れる、快適に乗れる公共交通の利用環境整備										
施策 利用者拡大のため、利便性向上施策や情報提供方法の改善、運賃体系の構築とダイヤの設定を図る										
①使いやすくわかりやすい運賃体系の構築	・再編策定業務 ・WAON カード決済のテスト導入（バス会社）		再編事業実施							
②円滑な運賃支払い方法の推進										
③わかりやすいホームページやバスマップへの更新	・検討		適宜実施							
④交通拠点等でのわかりやすい情報案内・誘導の実施	・再編策定業務									
⑤バスロケーションシステムの導入	・導入中（バス会社）									
施策 交通拠点等におけるバス待合環境を整備する										
①バスシェルターの整備	・検討		検討、適宜実施							
②地元商店会等と連携したバス待合環境の整備	・検討									
基本方針 3 公共交通と関わる意識の醸成及び機会の創出										
施策 みんなで公共交通を守り育てる環境を構築する										
①モビリティ・マネジメント事業の実施	・高齢者向け実施 運輸局事業（連携）		検討、適宜実施							
②地域住民による公共交通のサポート	・検討									
③主要施設等との連携による公共交通利用のきっかけづくり	・検討									
施策 高齢者の公共交通利用に対する支援										
①高齢者の移動を支援する公共交通の仕組みづくり	・市の高齢者バス補助の拡充に向け、内容、実施時期を整理中		検討、適宜実施							
基本方針 4 交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保										
施策 需要に応じた柔軟な移動手段を確保する										
①生活交通の導入検討	・再編策定業務		再編事業実施							
②スクールバス、患者輸送バス等の活用検討	・廃線した音別線（バス）沿線で試験導入									
基本方針 5 釧路圏域の交流・連携を支える広域公共交通軸の確保										
施策 釧路市の機能を広域的に活かす公共交通の確保										
①観光・交流の促進に向けた交通環境の整備	・検討		検討、適宜実施							
②広域的な交通手段の確保と連携強化	・再編策定業務									